

令和3年度あわら市行政評価外部評価委員会会議録（要旨）

- 1 日 時 令和3年8月6日(金) 13:30～17:15
- 2 場 所 あわら市役所101会議室
- 3 議 題 ・行政評価（施策）の外部評価
- 4 資 料 ・令和3年度施策評価シート
- 5 出席者 委員：桑原委員（会長）、達川委員、坪田委員、伊藤幸委員、堀江委員、  
坂野委員、  
内部委員：城戸橋副市長、西川創造戦略部長  
総務部：後藤総務部長、渡邊総務課長、三上防災安全対策室長  
経済産業部：武田経済産業部長、中島商工労働課長、東農林水産課長、  
赤神観光振興課課長補佐  
創造戦略部：常廣市民協働課長  
事務局：江川政策広報課長、藤田政策広報課参事、西田政策広報課主査

6 会 議

- ・委員の出席状況の報告（伊藤(和)委員、高橋委員が所要のため欠席）
- ・議事

※以下の議事録において、施策番号は【 〃 】, 事務事業番号は〈 〉で表記する。

会長	令和3年度行政評価に係る外部評価に関し事務局の説明をお願いする。
13:30～	
会長	施策番号【3】について説明をお願いする。
事務局	（【3】地域防災の強化の説明）
会長	【3】について意見や質問はないか。
委員	要援護者台帳の公開について、支援団体が情報公開を求めたが非公開となった事例があると聞いている。非公開としている理由は何か。
総務部	要援護者台帳については、災害時に援護を必要とする人を、本人の同意を得て掲載し、区長に配付することとしている。また、名簿情報を提供することについて本人の判断によるなど、個人情報の面で難しい問題がある。
会長	災害テレフォンサービスの数値が増えているが、その理由は何か。
総務部	緊急事態宣言や熊の目的情報が相次いだことにより、防災行政無線を利用する回数が増えたことが理由だと考えられる。また、広報誌や出前講座でもテレフォンサービスの周知を図っていることが増加の要因だと考えられ

	る。
会長	防災メールなどの通知が届いているかの確認はとっているのか。
副市長	プッシュ型の通知であるため、基本的には届いていると認識している。
委員	防災行政無線が聞き取りにくいという声をよく聞く。無線の数を増やすなどの予定はあるのか。
総務部	現在増設する予定はない。家屋の密閉性も高くなっていることから、聞こえにくいという現状は把握している。また、一時期、音量を上げた時期もあるが、逆に防災行政無線の近くに住んでいる住民からは苦情がきたこともある。そのため、防災行政無線だけでなく、防災メールやテレビでのテロップなどの手段を使いながら情報の伝達に努めているところ。
会長	放送する内容やメールについて、外国人向けの多言語化は進めているのか。
総務部	チラシ等については、ベトナム、フィリピンなど人口の多い順で翻訳している。防災行政無線についても、今後、多言語化を検討していく。
会長	施策番号【24】について説明をお願いします。
事務局	(【24】観光の振興の説明)
会長	【24】について意見や質問はないか。
委員	成果を測る指標として、市民アンケートから意見をとることも必要だが、観光客のからの意見も必要ではないか。また、観光まちづくりを担う人材の育成については、観光入込客数を使用しているが、別の指標を検討したほうがいいのではないか。
経済産業部	観光客からも重要だと考えている。一方で、各種企業などから出されているランキングなどは偏りがあるため、現状と一致していないものも多いと考えられる。今後検討していく。人材育成についてだが、感幸マイスター事業などで人材育成を進めており、今後はそういった人材の人数などを指標にしていくことも検討していく。
副市長	一つ目だが、「市民にとって自慢できる、他の人に薦めたい」という意識の醸成も含まれると考えている。
委員	旅行者があわら市で使用する金額は把握しているか。
経済産業部	季節によっても上下はするが、芦原温泉に宿泊する人の平均は15,000円程度。お土産は1,000円程度。
委員	コロナの影響により、多くの指標が下がってきており、入込客数だけで捉えてしまうと現状と乖離する。旅館における市民の雇用など、他の指標も

	検討する必要がある。
経済産業部	検討させていただく。
委員	廃業になった旅館がそのまま残っていると景観上もよくない。何か対策はあるのか。
経済産業部	所有権の問題などにより、現状としては略式代執行としてやらざるを得ない状況になっているが、市民の理解を得られるかという部分もある。福井県などとも連携しながら対応していく。
会長	施策番号【25】について説明をお願いします。
事務局	(【25】農業の振興の説明)
会長	【25】について意見や質問はないか。
委員	農業施策の考え方を変えていく必要がある。従来は担い手を確保し、農地を守っていこうという考えのもと進めてきた。しかし、そこから脱却して儲かる農業にシフトしていかないと担い手も確保できなくなる。他市町との補助金交付について差があるとも聞いており、その分、知恵を出す必要がある。
副市長	儲かる農業やスマート農業についても検討していく。
会長	施策番号【26】について説明をお願いします。
事務局	(【26】林業の振興の説明)
会長	【26】について意見や質問はないか。
委員	森林関連の事業費が減少しているが、その理由は何か。
経済産業部	剣ヶ岳線の工事が完了したため減少している。
委員	森林組合が作業道の整備をしているが、事業費はこの中に含まれるのか。
経済産業部	含まれている。
会長	木材の搬出量が上がっている理由は何か。
経済産業部	木材搬出に適正な木が多いということは把握している。全国的に需要が高まっており、この傾向はしばらく続く見込みである。
会長	施策番号【27】について説明をお願いします。
事務局	(【27】水産業の振興の説明)
会長	【27】について意見や質問はないか。
会長	外来魚は増えているのか。

経済産業部	増えているという認識はない。
会長	施策番号【28】について説明をお願いします。
事務局	(【28】工業の振興の説明)
会長	【28】について意見や質問はないか。
会長	現状課題について、「企業に対してあわら市の価値を高めるような補助制度」とは具体的にどのようなものを想定しているか。
経済産業部	創業支援やサテライトオフィス、IT企業との連携を図るなど、異業種の組み合わせにより新たな価値創造につなげていきたいと考えている。
委員	製薬会社のニュースがあるが、何かしら市に影響はあるのか。
副市長	補助金の返還や税金の面で影響がある。市内の雇用にも若干影響はしているのではないかと考えている。
会長	施策番号【29】について説明をお願いします。
事務局	(【29】商業の振興の説明)
会長	【29】について意見や質問はないか。
委員	事務事業<184>の指標について、どの程度までデータを取っているのか。
政策広報課	地区別、年齢別、性別、居住歴などのデータは把握している。
委員	高齢者についてはどのような結果になっているか。
政策広報課	59.2%が肯定志向で、その他の年代についても同じような数値となっている。
委員	一人暮らしの高齢者の世帯だと、生協の移動販売なども利用していると思うが、そういった世帯向けの支援や仕組みが必要だと考えている。
副市長	今後の地域の在り方として、小規模多機能自治や公民館のコミセン化を検討している。また、DXも進めており、デジタルを活用しながら、お年寄りの支援なども検討していく。
委員	あわら市に住み続けたい理由として、買い物がしやすいかどうかの影響している。転出したい理由が、買い物に関連しているため、その充実は必須だと思う。
副市長	あわら市にも企業が進出するといった話があったが、大型の商業施設が進出すると地域の商店が影響を受けるという問題もある。一方で、その商店には後継者がいないといった問題もあり、今後、考えていく必要がある。

会長	施策番号【30】について説明をお願いします。
事務局	（【30】雇用環境の充実の説明）
会長	【30】について意見や質問はないか。
委員	企業の雇用として、外国人なども積極的に雇用しながら、あわら市の人口も維持していく必要があるのではないか。
経済産業部	あわら市企業等魅力紹介ガイドブック「BRIDGE」なども活用はしているが、長期的にやっていく必要があると感じている。外国人の雇用については、他部署とも連携しながら対応しており、ごみの出し方をはじめ、地域からはみださないようなサポートもしている。
会長	障がい者や外国人の方などが、BRIDGEを見たときに分かりやすい工夫があるといい。例えば、その国の言語で一言入れるなど。
経済産業部	参考にさせていただく。
会長	施策番号【8】について説明をお願いします。
事務局	（【8】人権の尊重の説明）
会長	【8】について意見や質問はないか。
会長	各事業において男女平等の観点が多いように思うが、LGBTや世代間意識、ワクチン接種の有無など、時代とともに人権の考え方そのものが変化しているため、そういった考えも必要ではないか。
副市長	後期基本計画においても、共生社会の構築といった考えを取り入れており、時代に合わせて柔軟に対応していく。
会長	施策番号【31】について説明をお願いします。
事務局	（【31】交流の推進の説明）
会長	【31】について意見や質問はないか。
委員	藤野源九郎や魯迅との関係性など、市民に周知するような事業を検討してはどうか。
副市長	市民活動サポート助成金を活用した団体が、魯迅の活動や活躍を検証するという事業を進めている。また、動画の作成や東北大学に資料が残っているという話もあり、そういった事業を進めている。
会長	施策番号【32】について説明をお願いします。
事務局	（【32】市民主役のまちづくりの説明）

会長	【32】について意見や質問はないか。
委員	感幸プロモーションビデオを作成したと思うが、どのように活用しているか。
創造戦略部	各施設や市のイベントでの活用に加え、YouTubeにもアップしている。
委員	視聴回数なども指標として検討するべきである。
副市長	検討する。
会長	施策番号【33】について説明をお願いします。
事務局	(【33】情報化の推進の説明)
会長	【33】について意見や質問はないか。
会長	デジタル化が進み、様々な情報が手に入る時代となった。今後はどう使っていくかが大切だと思うが、EBPMといったデータにもとづく施策を進めていくことが必要ではないか。
創造戦略部	職員の意識改革も含めて実施していきたい。
会長	施策番号【34】について説明をお願いします。
事務局	(【34】健全な行財政の運営の説明)
会長	【34】について意見や質問はないか。
委員	この行政評価の結果を受けて、人事評価への反映や組織体制、予算への反映が必要ではないか。
副市長	今後の方向性ということで、拡大、現状維持、縮小と記載されているが、それをもとに予算要求などに反映している。
委員	目標に対して、達成率の低いものがある。そもそもの目標の設定が正確なのかどうかも見直してほしい。また、数値目標も大切だが、目標を達成するためのプロセスも重要だと考えている。
副市長	次年度以降の行政評価ではその部分も検討しながら実施していきたい。
会長	本日子定の案件はすべて終了した。以上で、今年度のあわら市行政評価外部評価委員会を終了する。